

篠山市ボランティア連絡協議会のあらまし

年 月 日	活 動 内 容	場 所	事業
S48年 5月	丹南町社会福祉協議会設立		
H2年 4月	ボランティア団体の設立は 丹南社協が給食サービス(週1回水曜日)実施するため、 給食ボランティア・配送ボランティア・絵手紙ボランティアを募る。丹南点訳ボランティア、要約筆記ボランティア等が既に発足していました。 丹南町ボランティア連絡協議会はこの年から発足しています。		
H4年 4月	コスモス配送ボランティアにボランティアとして参加する	丹南町 古市地区担当	
H6年 5月	兵庫県いきがい創造協会主導のもと、各市町村に「ねんりんボランティア」を立ち上げる要請があり、旧篠山、西紀、丹南の各町は養成講座を開催。丹南町はいち早く「ねんりんボランティア養成講座」を開講された。引き続き赤十字家庭看護法講習が行われ合計14回の講習を受講しました。(受講者23名)	丹南健康福祉センター やすらぎ園	
H7年 1月	阪神淡路大震災17日早朝5時47分発生。 【炊き出し支援】穀物・猪肉・野菜豆腐味噌類を調達。鍋、釜、薪をバスに積み込み、芦屋市上宮川町公民館で炊き出しを行いました。 (バスは、南矢代高仙寺から借用し、3日運行しました。)	芦屋市上宮川町	
H7年 2月	「ねんりん丹南ボランティア」を結成し活動開始しました。 阪神淡路大震災の疎開被災者の入浴介助の手伝い やすらぎ園と話し合い、年間計画を取り決めこれに沿って活動を取り組んでいくことにしました。(年間延120日) 現在は延べ日数を減らし取り組んでいます。他に「老健咲楽荘」「老健ひょうご医大」でも取り組んでいます。 (会員数 現在17名)	やすらぎ園	
H11年 6月	篠山市社会福祉協議会設立 4町合併		
H11年 6月	篠山市ボランティア連絡協議会設立 (旧4町合併) 初代会長は、溝畑不二子氏 <u>ボランティア連絡協議会規程を抜粋</u> (趣旨) 第1条 この規程は、ボランティア連絡協議会の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。 (設置) 第2条 この協議会は、ボランティア相互の交流を深め、ボランティア活動の発展と社会福祉増進を図	丹南健康福祉センター	

		<p>ることを目的として、社会福祉法人篠山市社会福祉協議会（以下〔社協〕という）に設置する。</p> <p>（事業）第5条 協議会は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。</p> <p>（1） ボランティアの交流及び相互協力 （2） ボランティアの育成 （3） ボランティアに関する調査 （4） ボランティア活動の推進 （5） 社協の福祉事業への参加及び協力 （6） その他、競技会目的達成のため必要な事業</p> <p>発足当初のグループ及び会員数</p> <p>篠山町 11グループ 会員 642 西紀町 12グループ 会員 273 丹南町 14グループ 会員 309 今田町 グループ 会員 306 =1530</p>		
H14年	6月	「篠山市善行賞」受賞（ねんりん丹南）	篠山市民センター	
H21年	1月	「くすのき賞」 受賞（ねんりん丹南）	丹波の森公苑	
H21年	8月	<p>兵庫佐用町豪雨災害発生（8月9日）</p> <p>不測の災害が生じたとき、「わたし達に何が出来るんやろか」と思いを巡らしたとき、被災地では「雑巾やタオルが必用としているので」と云う情報を得て、被災地に送ろうと役員に連絡、15日から短い期間の中で3,120枚集まり、早速、被災地佐用町に送りました。</p> <p>篠山社協の取組</p> <p>また、社協の主催する災害ボランティア(28名)に参加、ボランティア役員5名（男1 女4）が応募参加しておりました。</p>	佐用町	
H21年	12	<p>「ひょうご県民ボランティア活動賞」（コスモス配送グループ）</p> <p>長い間の活動がやっと報われたように思います。</p> <p>5年ほど前の話です。</p> <p>いつものとおり扉の前でベルを押し「こんにちはー、お弁当を持ってきました」「いつもの温かい美味しいお弁当でーす」いくら呼んでも返事がない。ふと郵便受けを見ると新聞が3・4日分入ったままです。社協に連絡してもう1回、裏に廻って大きな声で呼んでみたら、近所のおじさんが「何事や」と言われ「実はこのような事情で…」「わしはこの親戚の者や、合鍵で入って調べるは」言うて頂きお弁当をお願いし、次の配達に廻りました。終わって社協に帰りましたら、「〇〇さん風邪ひいて寝込んで3日目だなあー」「早速病院え連れて行きはったようや、良かったなあー」</p> <p>私達は、安否確認を兼ねながら取り組んでいます。</p>	神戸クリスタルホール	
H23年	3月	11日14時46分東日本大震災発生		

H23年	3月	ねんりん丹南グループの総会を3月16日に行いました。活動費ガソリン代の足しにと僅かな金額を支給しています。全額40,200円です。この金額を皆さん全員一致で東日本大震災義援金へ送りました。	丹波「やすら樹」	
H23年	4.1	募金活動 役員会議の中で、「東日本大震災の街頭募金活動を取り組みましょう」と全員一致で決まり、4月1日10時00分よりスーパーマーケットNISHIYAMAに役員が集まり二手に分かれ募金活動を開始。 お客の皆さん大変関心度が高く、多い人では3千円と小銭を全部ポンと入れて下さいました。短時間で45,708円集まり、東日本大震災義援金として被災地へ届けました。	スーパーマーケット NISHIYAMA	
H23年	5.3	フリーマーケット「黄金市」でのチャリティバザー取組み。売上金61,000円を東日本大震災義援金として被災地へ届けました。 役員会で図り取組ました(会員の皆様にお願ひし品物を沢山抛出頂きました)	3の丸広場	
H23年	5月	篠山市ボランティア協議会総会 講演 「見えないことから見えてきたこと」 講師 元ライトハウス訓練生 酒井雅和氏 (42グループ 93名参加)	丹南健康福祉センター	●
H23年	6月	第12回篠山市社会福祉大会に参加 各グループ3名参加	生涯学習センター	●
H23年	9月	全国車いすマラソン大会 走路安全係として各支部5名×4=20名出役	丹南支部は東吹方面	●
	10月	隔年ごとに他市のボランティア団体と交流会を開催しています。	前回は、西宮市ボランティア協議会と交流。	●
H23年	10月 11月	「赤い羽根共同募金運動 街頭募金活動」し、募金活動をして協力しました (役員)	篠山市内(4ヶ所) 城東支所・村雲小学校 丹南支所・今田支所	●
H23年	11月	すこやか会 介助ボランティア(お手伝い) アトラクション (演出 地区のボランティアが対応)	西紀地区・丹南地区 篠山地区・今田地区 城東 多紀地区	●
H23年	11月	篠山市と姉妹都市に当たる飛騨の高山市へ篠山市社会福祉協議会職員達と理事が、高山市の社会福祉協議会と合同研修に参加、高山社協 地域福祉課長小峠課長の説明の中の一つに「街なかの空き店舗を借り上げ、市民相互の憩いや福祉諸情報の提供の場としてボランティアセンターを立ち上げています」と話されました。会議が終わって早速車中から素通りですが3ヶ所見学しました。 篠山の街なかにボランティアセンターを開設できたらと願っています。	飛騨高山市	

H23年	11月	第6回身障者スポーツフェスティバル大会 毎年5、6名の人がお手伝いしています。	篠山スポーツセンター	●															
H24年	1月	「篠山市民センターまつり」に初参加（役員） ボランティア活動パネルを展示、みなさんにアピールする。 昨年は他市の方2名が関心を示されたが・・・	市民センター	●															
H24年	2月	長年取組んできたボランティアのつどいを取止め、新たな事業計画を考案「(第1回)ボランティアフェスティバル」を開催しました。 内容は、市民プラダに加入してみても判ったことは、いろんな団体が加入しています。その中で目的が同じ方向であれば【協働】し共に学んで行こうと市民グループのみなさんや高校生の方に参加を呼びかけました。 高校生の方からは2グループのボランティア活動取組発表。 ボランティアグループより3グループの活動発表。 講演 「ボランティアを知ろう～災害から見えてきたもの～」 講師 大阪ボランティア協会 コーディネーター 梅田純平氏	丹南健康福祉センター	●															
H24年	3月11日	東日本大震災から1年【忘れない3.11】尊い命を無くされた方々に黙祷。早い復興を願って祈願しました。遠い丹波篠山からお城ドーナツで手をつなぐ。熱くエールを送りました。 お城ドーナツに(20名が整理員としてボランティア参加)	篠山城周辺	●															
H24	5月	篠山市の各ボランティアグループの活動紹介冊子が完成。「いつでも誰でも、ボランティア活動の紹介」が出来るようになりました。																	
<p>● 最後の一つ、これは一番大事なことです。</p> <p>ここ数年間ボランティア仲間が高齢化し減少していること、後継者の不足が課題となっています。皆さんはそのことについて危機感を募らせ、役員会などで話題になり、その都度社協の広報で募集を呼びかけていますが、なかなか集まらないのが実情です。登録グループ数も年々減少しています。</p> <p>ボランティアを盛り上げていくための事業をしたいと思い、昨年度より篠山市民プラザに登録し、横のつながりを広げたり自分たちの活動を多くの方に知ってもらえるよう努力しています。</p> <p>また、新たな事業として昨年度より、ボランティアフェスティバルを開催しています。昨年は会場いっぱいの参加者で大変盛況に終わりました。</p> <p>今年度は若い世代と一緒にボランティア活動を盛り上げていくために、高校生の活動発表なども取り入れた内容で検討中です。</p> <p>今度も様々な事業を通して積極的にいろいろな団体と手をつないでボランティアを盛り上げていきたいと思っています。</p>			<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>グループ数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19年</td> <td>47</td> <td>1647</td> </tr> <tr> <td>22年</td> <td>45</td> <td>1410</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>44</td> <td>1387</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>40</td> <td>1351</td> </tr> </tbody> </table>	年度	グループ数	人数	19年	47	1647	22年	45	1410	23年	44	1387	24年	40	1351	
年度	グループ数	人数																	
19年	47	1647																	
22年	45	1410																	
23年	44	1387																	
24年	40	1351																	

1. 組織図

平成24年5月現在

